

令和5年度 第6回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和5年8月8日(火) 19:00開始

2. 場 所 ZoomによるWeb会議

3. 出席者 理事18名中17名 監事2名

(理事) 三須 和泰、石川 伸男、多氣 洋平、仁賀 建夫、中村 真理、
永井 祐司、平尾 豊、奥田 竜子、柿田 亜矢子、奥田 好廣、
安枝 和子、久保 克敏、高瀬 美保、箸本 明雄、桜木 由美子、
埴岡 隆、小林 真由美
(監事) 花野 信子、清水 美音子

4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

5. 開会のご挨拶(三須会長)

6. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が理事18名の内17名が出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており適法に成立した旨を告げた。

(2) 定款第38条に基づき三須和泰会長が議長に選出された。

(3) Zoom会議により出席者の音声は即時に伝わり、一堂に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認された。その後、議案の審議に入った。

7. 正会員・有識者代表との協議会について

石川専務理事から、議案審議の前に8月4日に行なわれた協議会について報告があった。大変な状況の中、現執行部を中心に資金獲得等財政改善に全力で取り組んでいくことが確認された。

8. 審議事項

① 第一号議案 令和5年 第一次補正予算

石川専務理事、内山財務総括副部長から配布された資料にもとづき第一次補正予算案について説明がされた。シニア男女チームへも参加者負担金を徴求することと、実施施策の見直しによる費目削減を進め、オリンピック最終予選や女子ジュニアワールドカップへの参加が前提となっている予算であるという説明が行われた。各理事からは寄付金や協賛金の発掘、更なる経費の削減の可能性など様々な提案があり検討することとなった。女子ジュニアワールドカップについては参加が承認された。各理事にも改めて精査を進めて頂き、8月22日に実施する次回理事会で改めて第一次補正予算案の決議を行うと説明があった。

② 第二号議案 ホッケー日本代表国際強化マッチ予算・実行委員会等

仁賀常務理事、坂本事務局長から配布された資料にもとづき、ホッケー日本代表国際強化マッチの予算・準備状況について説明がされた。予算については収支差に余裕をもって計画していること、観戦者について更に組織的に募集をかけていくこと等報告があった。

9. 報告事項

① ホッケータウン認定進捗状況

柿田理事からホッケータウン認定申請について説明がなされた。タウンについては、既に12件の応募があり今後更に数件増える見込、またホッケーチーム・パーソンについても順調に応募がある旨が報告された。今後、ホッケータウン認定審査委員会を構成したい旨提案があり了、8名のメンバーについて異議なく説明が終了した。

② アンチ・ドーピングについて

永井常務理事、埴岡理事から、日本アンチ・ドーピング機構から選手（個人名は秘匿）に対するアンチ・ドーピング規則違反の可能性の通知及び暫定的資格停止に関する通知があり、対応について協議している旨報告がされた。

③ 第46回 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会について

高瀬理事から、本大会の共同主催者である日本スポーツ協会より、酷暑による熱中症予防のため大会の実施を見直す、または、試合スケジュールの工夫を行なうよう連絡があったと報告があった。JHA としての熱中症予防対策の説明を実施し、本大会の開催自体については納得いただいたが、暑さ指数（WBGT）が規定を超えた場合には試合を見合わせる可能性もあるとの報告があった。

④ アスリート委員の公募について

小林理事から、アスリート委員会開催のため委員を公募する、対象は10歳以上の日本ホッケー協会選手登録者（現・元）、10名ほどを想定していると報告があった。

（その他）

奥田好廣理事からアジアチャンピオンズトロフィーの代表メンバーの理事会付議はなかったのかと質問があり、坂本事務局長が確認して連絡すると伝えた。

以上をもってすべての議事の審議を終了し、議長は21：00閉会を宣言した。